

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-37 □支 援 部 門		管渠維持管理費					
主管課	下水道課	関連課	作業センター、浄化センター、道水路管理課					
分野名	下水道課・河川							
目標 (目標値)	・汚水管渠施設の適切な維持管理を行い、機能維持を図る。 ・大雨時、汚水本管が満管状態で使用できない水洗便所をえるようにする。							
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考			
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
	事業の対象者数	171,165人	171,024人	170,233人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	65,882	67,725	69,769				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	65,882	67,725	69,769				
	人員配置数	1.1	0.9	1.2				
	人件費(千円)	9,665	7,978	10,740				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	75,547	75,703	80,509				
	市民1人当 りの経費(円)	426	429	456				
	対象者1人 当りの経費(円)	441	443	473				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	小田原市	厚木市	大和市	海老名市		
	維持管理費(百万円)	247	146	231	114	317		
	処理人口(千人)	171.0	159.0	193.5	205.4	121.6		
	対象者一人当り(円)	1,444	918	1,194	555	2,607		
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
管渠浚渫延長	○	目標値	実数	実数				
実績値		31,019	31,278					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。				
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。				
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
管渠維持管理費	65,882千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	汚水管渠等施設の維持修繕工事、管渠等浚渫委託を実施						
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要							
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要							
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要							
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要							

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	・道路舗装の悪いところが多く、マンホール蓋との段差が生じ騒音・振動等の苦情が増えて対応が追いつかなくなっている。			
課題解決のための取組	・緊急で作業センターに依頼した際に人手が足りない場合、交通整理等を手伝い対応を早めてもらっている。また、補修工事が待てない場合に、程度により作業センターから材料を支給してもらい、施工は相手方に無償で実施してもらっている。			
未解決の課題	・道路舗装も含め管路施設の老朽化により、予定箇所以外の浚渫や緊急補修箇所が増加して、工夫しても苦情を減らせない状況である。			
今後の方針	・予算の配分を変えるなどして、できるだけ市民に迷惑がかからない様に対応したい。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ A	※ □事業完了	課長名 下水道課課長代理 杉田 公敬

個別事業の概要

個別事業の概要						
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
管渠維持管理費	主な個別事業	536	汚水管渠等維持修繕料	12,522	11,360	■適切 □見直し余地あり
		536	汚水管渠等しゅんせつ委託料	50,478	50,478	■適切 □見直し余地あり
		536	市内各所マンホール蓋・受枠交換工事及び路面復旧工事	5,000	3,885	■適切 □見直し余地あり
		536	地下埋設物移設等補償金	510	0	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切 □見直し余地あり